

令和6年(1～7月)に九州管内で発生したガス事故(ガス事業法関係)について、次のとおりお知らせします。

令和6年7月31日末現在  
九州産業保安監督部

番号	事故発生日	事故発生場所	ガス事業区分	事故の種類 (被害の程度) 【段階別】	事故概要
1	1月15日	熊本県	一般導管	漏えい・着火 (物損) 【供給】	消防から「火災で出動した現場においてガス臭がある」とガス事業者に連絡があり、現場に出動し、分電盤(電力地上機器)の軽微な焼損を確認した。調査した結果、歩道部に埋設してある供給管(ポリエチレン被覆鋼管80mm)の継手接合部からの漏えいを確認した。当該継手部に何らかの荷重等がかかり隙間が発生し、漏えいしたガスが分電盤内(電力地上機器)に流入した後、何らかの着火源により引火したと推測される。 【原因:供給管(継手部)への過度な負荷応力】
2	1月21日	鹿児島県	小売	漏えい・着火 (物損) 【消費】	需要家から「RF式風呂釜から出火し水を掛けて消火した」とガス事業者に連絡があり、調査した結果、RF式風呂釜が焼損していることを確認した。当該風呂釜のガバナ部のゴム製ダイヤフラムと樹脂部品が消失しており、ダイヤフラムが経年劣化し、亀裂が生じ、漏えいしたガスに引火したと推測される。 【原因:RF式風呂釜の劣化】
3	3月8日	熊本県	小売(特定)	漏えい・着火 (物損) 【供給】	需要家敷地内において、ガスの遮断をせず灯外内管(露出部)を取り外し、灯外内管に溜まっていた水をコンプレッサーを用いて抽水作業中、需要家がRF式ガス瞬間湯沸器を使用したところ、灯外内管から漏えいしたガスに着火し、当該作業を実施していたガス事業者の社員2名が火傷(軽傷)を負った。 【原因:抽水作業中の漏えい】
4	3月23日	福岡県	小売(特定)	漏えい・着火 (物損) 【消費】	需要家から「BF式風呂釜の点火作業を繰り返したところ、当該風呂釜から大きな音がし、カバーが変形した」とガス事業者に連絡があり、調査した結果、BF式風呂釜のカバー及び給排気トップの変形を確認した。点火操作を繰り返し風呂釜内部に未燃ガスが滞留し、点火時のスパークにより異常燃焼(爆発)したと推測される。 【原因:BF風呂釜の劣化】
5	3月25日	長崎県	小売	漏えい・着火 (物損) 【消費】	需要家から「コンロ付近で火が付いた」とガス事業者に連絡があり、調査した結果、コンセント型ガス栓に不適切な方法で接続していたソフトコード端部から微量の漏えいを確認した。迅速継手を使用せずソフトコード端部をカッター等で割き、テープで固定しコンセント型ガス栓に接続していたため、当該固定部分からガスが漏えいし、コンロの炎が着火源となり引火し、ソフトコードの一部が焼損したと推測される。 【原因:ソフトコードの不適切使用】
6	4月2日	長崎県	小売	漏えい・着火 (物損) 【消費】	需要家から「コンロホースより火が出た」とガス事業者に連絡があり、調査した結果、コンロ用ガス栓に接続していた迅速継手(ガス栓用プラグ)のゴム部分に亀裂があり、漏えいを確認した。迅速継手(ガス栓用プラグ)が経年劣化していたうえ、台所の勝手口を横断させガスコードをガスストープに接続していたため、ガスコードに人が接触し過度な応力が加わり、迅速継手(ガス栓用プラグ)のゴム部分に亀裂が入り、漏えいしたガスに引火したと推測される。 【原因:迅速継手(ガス栓用プラグ)の劣化及び過度な負荷応力】
7	5月17日	福岡県	小売	漏えい・着火 (物損) 【消費】	風呂釜(CF)の使用後、2日間程経過し風呂釜(CF)のメカ部であるガバナ及びソレノイドバルブ部分が焼損した。メーカーによる調査の結果、リコールで告知している事象と同一の事象であることを確認した。ガバナ部のダイヤフラムに亀裂が発生し、ガスが漏えい引火、樹脂部品に延焼し、焼損したと推測される。なお、消費機器(風呂釜)の型式を誤って登録し、リコール対象機器の部品交換されていた。 【原因:CF風呂釜の劣化】
8	7月17日	福岡県	一般導管	供給支障 【供給】	需要家から「ガスが出ない」とガス事業者へ通報があったため、調査した結果、当該地区のガス管内に水が流入し滞水していることを確認した。供給支障戸数は周辺需要家101戸。給水管(ポリエチレン管:20mm)からの漏水によるサンドブラスト現象で支管(ポリエチレン被覆鋼管:50mm)の一部を損傷し、損傷箇所より水道水が流入したことによる。 【原因:サンドブラスト】